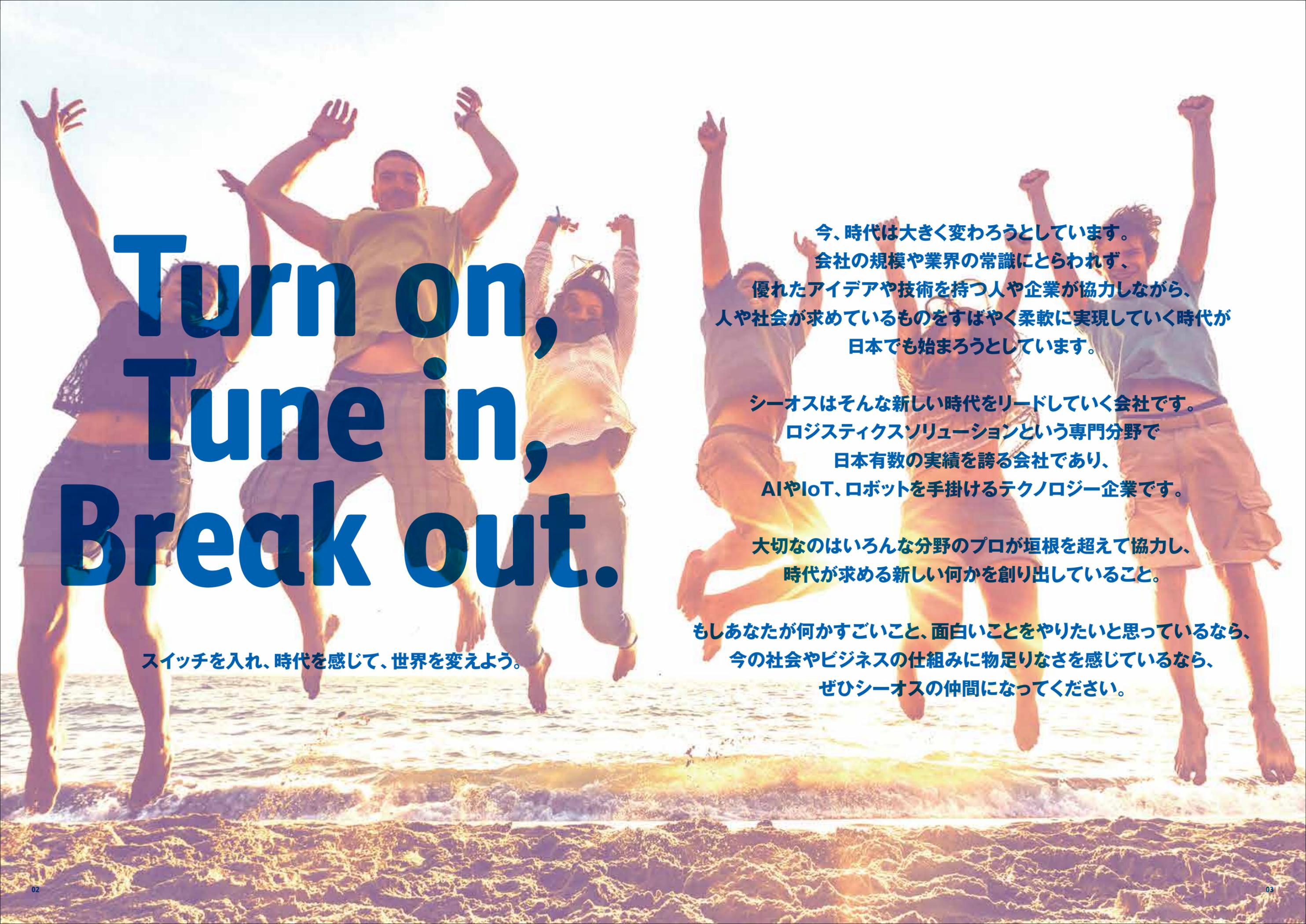


Turn on, Tune in, Break out.

スイッチを入れ、時代を感じて、世界を変えよう。

SEAOS 



Turn on, Tune in, Break out.

スイッチを入れ、時代を感じて、世界を変えよう。

今、時代は大きく変わろうとしています。
会社の規模や業界の常識にとらわれず、
優れたアイデアや技術を持つ人や企業が協力しながら、
人や社会が求めているものをすばやく柔軟に実現していく時代が
日本でも始まろうとしています。

シーオスはそんな新しい時代をリードしていく会社です。
ロジスティクスソリューションという専門分野で
日本有数の実績を誇る会社であり、
AIやIoT、ロボットを手掛けるテクノロジー企業です。

大切なのはいろんな分野のプロが垣根を超えて協力し、
時代が求める新しい何かを創り出していること。

もしあなたが何かすごいこと、面白いことをやりたいと思っているなら、
今の社会やビジネスの仕組みに物足りなさを感じているなら、
ぜひシーオスの仲間になってください。

Turn on

IoT・AI・ロボティクス……

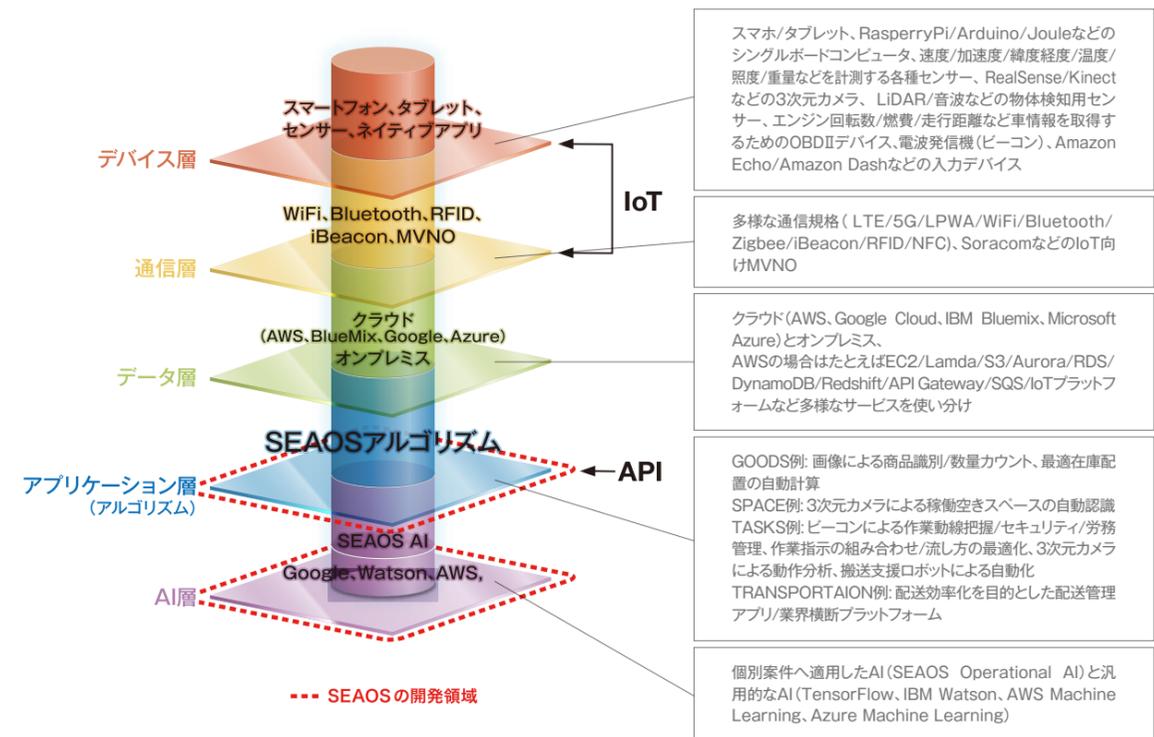
テクノロジーで時代のスイッチを入れよう。

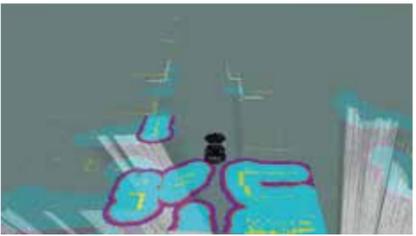
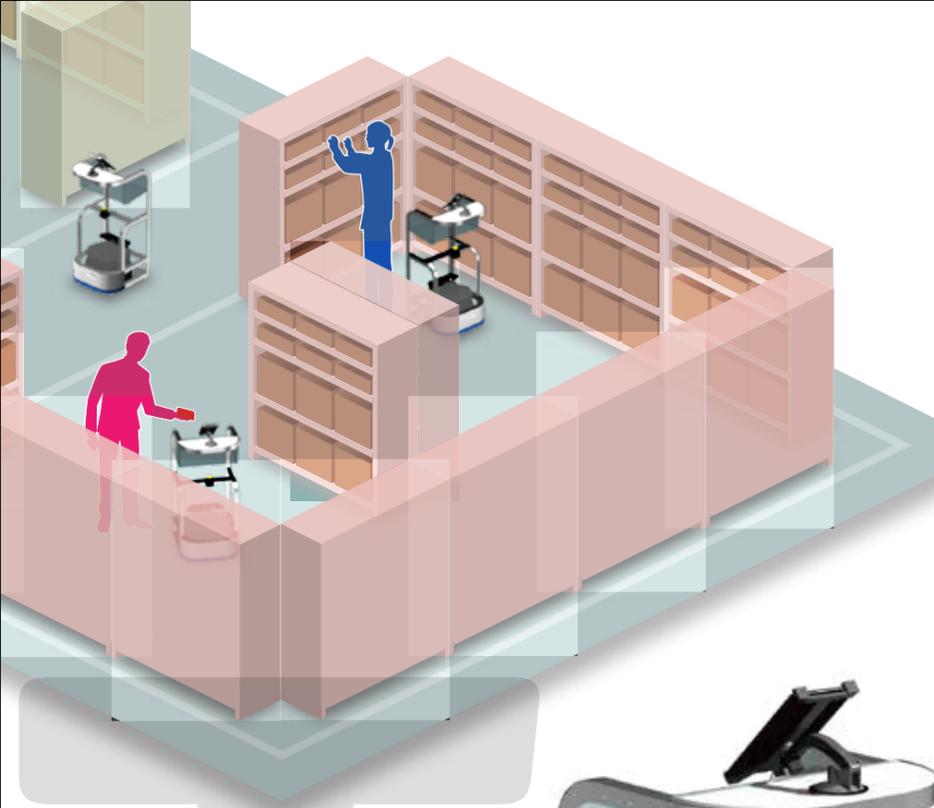
世の中のあらゆるものがインターネットでつながる
IoTの時代がやってこようとしています。
業界や企業の枠を超えて社会のあらゆるリソースを活用する
新しいビジネスモデルが次々誕生しようとしています。
IoTが爆発的に普及する時代、
ロジスティクスに圧倒的な強みを持つシーオスは、
ビジネスの根幹に大きな影響力を持つ会社へ飛躍しようとしています。

もしあなたがテクノロジーで
何か革新的なことをしたいと考えているなら、
シーオスは大きな活躍のチャンスを提供できるでしょう。

テクノロジーで産業を変える。

IoTの基盤を担うために、シーオスはテクノロジーにこだわります。特にアルゴリズム（アプリケーション）とAIに独自の技術と製品を開発し、これからの産業社会を支配するテクノロジーの5層（デバイス・通信・データ・アプリケーション・AI）を効果的にコーディネートしながら、産業のリソースをこれまでにない精度・自由度で活用できる仕組みを提供していきます。IoTによる新しい産業革命が起きるとき、シーオスが大きな役割を發揮します。





シーオスがめざすのは、人とロボットがあたりまえに共存し、快適に働ける職場づくり。

シーオスのロボットは、人から仕事を奪うのではなく、人をサポートするロボットです。倉庫での商品の運搬など、人にとって苦痛な作業を引き受けることで、高齢者でも快適に働ける環境を創り出します。

ネット通販の普及によって倉庫内現場のピッキング作業が爆発的に増えており、現場作業者は1人1日あたり7~20km商品運ぶために徒歩にて移動しています。しかし、生産年齢人口は年々減少してきて、物流の作業現場では人手不足が深刻化しています。この問題を解決するのが高齢者です。

これまで高齢者は体力不足から、作業現場の仕事に就くことができませんでした。しかし、シーオスの協働型ロボットは運搬など体力のいる作業からスタッフを解放することで、お年寄りでも楽に仕事ができる現場を創り出します。

現実離れた夢物語だという人がいるかもしれませんが、かつて電気洗濯機や掃除機が家庭に普及していった時と同じように、倉庫の作業現場に家電製品のようにロボットが普及し、ロボットがなかった時代を想像することができなくなる日が間もなく訪れます。

人をロボットに置き換えるのではなく、人がロボットとあたりまえに仕事をする時代がまもなくやってきます。物流の現場は労働力不足から解放されます。社会は高齢化で拡大する非生産人口を生産人口化することができます。

シーオスがめざすのは、こうしたよりよい社会づくりに貢献するようなロボットであり、IoTテクノロジーなのです。



- 協働型ロボット「ロジラー」の5層テクノロジー**
- 1 デバイス層 : 汎用ロボット、タブレット、Joule、Kinect/RealSense、2D LIDAR、SLAM
 - 2 通信層 : Wi-Fi
 - 3 データ層 : Amazon AWS
 - 4 アプリケーション層 : 空間認識、商品識別、自動マッピング、最適ルート計算、ROS
 - 5 AI層 : SEAOS AI+Deep Learning

Innovation for Smile Work
Logiler



seaos.co.jp/xble-logiler.html

大企業よりすばやくロボットを創る。

シーオスは大企業にはないやり方で答えを出します。
たとえばロジスティクスの現場で活躍するロボットLogiler(ロジラー)。
大企業なら巨大な投資と長い年月をかけて、基礎技術から開発するかもしれませんが、
シーオスは汎用ロボットやマイクロソフト製のセンサー「キネクト」などのデバイス、Wi-Fiによる通信、
AmazonのクラウドサービスAWSによるデータ管理、
独自開発した空間認識・商品識別・自動マッピングなどのアプリケーションを組み上げることで、
短期間・低コストでロボットを実現しました。

大企業にない自由さ、スピードでテクノロジーを駆使し、
世の中に新しい価値を生み出す。
それがシーオスです。

John Paul Banayat Soliva

ロボットの技術開発には終わりがいいからこそ、チャレンジし続ける楽しさがある。

私と「ロジラー」の最初の出会いは2016年の秋。そのとき勤めていた前の会社とシーオスがたまたま同じ展示会に出展していて、完成したばかりの初代Logiler(ロジラー)がデモンストラーションで動くところを見ました。そのとき、「自分ならもっといいものができる!」と思いました。それからまもなくシーオスに転職したのはロボット開発を手掛けたかったからです。

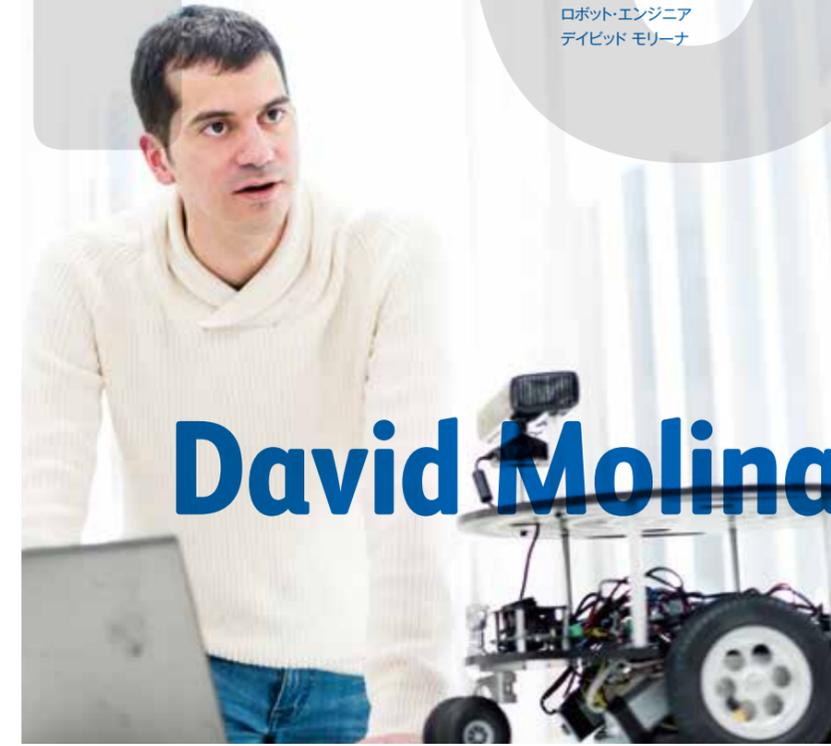
私の仕事はロジラーをよりインテリジェントにすること。センサーで検知した情報に対する判断などを、新しい技術のフレームワークを活用しながら向上させています。改良の余地はまだたくさんありますし、困難で終わりがいいからこそチャレンジし続ける楽しさが味わえます。大切なのはスキル以上にコミュニケーション。チームで開発していますから、常に情報を共有し、お互いを理解しながら進めていく必要があります。

目標はロジラーの改良を続けながら素晴らしいロボットにしていこうとしますが、さらにもうひとつ、人の暮らしや研究機関の活動などに役立つ、高度な天気情報共有システムを開発して、事業化したいという夢もあります。こうした夢を松島社長に直接話すことができるのも、シーオスのいいところだと思います。



ROBOグループ
チーフロボティクスオフィサー
ジャンポール バナヤット ソリバ

ジャンポール バナヤット ソリバ / フィリピン人の大学・大学院でエレクトロニクス、メカニカルエンジニアリングなどを学び、日本の電子機器メーカーで約7年間インフラ系機器のエンジニアとして活躍。シーオスのロボット開発エンジニア募集を見て、自分の技術をさらに活かせる仕事ができると考え、2016年秋に入社した。現在、協働型ロボットLogiler(ロジラー)の改良に取り組んでいる。



David Molina

ROBOグループ
ロボットエンジニア
デイビッド モリーナ

1人でロボットを開発した8か月間は、エキサイティングな挑戦の日々。

少年時代からITが好きで、技術系の学校で勉強しましたが、日本に来てシーオスのエンジニア募集に応募したとき、実務経験はほぼゼロ。それでもITにける意欲を評価されて入社することができました。約4年間ソフトウェア開発エンジニアとして実績を積み、2016年1月にいきなり1人でロボット開発を担当することに。

9月の展示会に出品するため、開発期間は8か月。汎用ロボットやセンサーなど、ハードは既製品を使いながらソフトに工夫をこらして、シーオスがめざすロボットを作っていました。技術の勉強から製品の情報収集まで、とにかくひたすら学び、考え、決断、実行、テストを繰り返す毎日、ハードでしたが、色々な技術が使えること、自分のスキルが急速に向上していくことが実感でき、楽しくエキサイティングな日々でした。現在は、仲間に加わったソリバさんと協力しながら、改良を重ねています。

シーオスはやる気がある人を信じてチャンスをくれる会社。いい仕事をする人をサポートしてくれる会社でもあります。技術的にまだまだやりたいことがたくさんあるので、これからもチャンスを活かしながら、期待に応えていきたいと思っています。

デイビッド モリーナ / コロンビア生まれ、テクニカルスクールでITを学び、イギリスに渡ってホスピタルマネジメントを学ぶ。日本人女性と結婚し、2012年日本へ、ソフトウェアエンジニアとしてシーオスに入社し、2016年1月、技術リサーチを終えたばかりのロボット開発を担当。約8か月で初代Logiler(ロジラー)を作り上げた。2015年、子育てに適した環境を求めて神戸に移り、クラウドを通じて連携しながら開発を進めている。

ユーザーが主役のUXビジネスへ……
時代の変化を感じよう。

Tune in

今世界で起きている最も大きな変化は、
経済の主権がユーザーに移行していること。
インターネットの普及やテクノロジーの進化によって、
ユーザーは自分たちが求めているのは
企業主導の商品やサービスではなく、それを使って得る
体験(UX)なのだということを知りました。
シーオスはこの時代の変化をいち早くとらえ、
ユーザーに最高のUXを提供する会社です。

UXを生み出すクロスオーバースタイル

私たちは新しいUXの時代を切り拓いていくため、世の中が求めている様々な事業の展開を猛スピードで進めています。

そのために、国内はもちろん海外からもテレワークで働ける環境や、毎日違う人と刺激しあえるフリーアドレスを採用。前職の業種・職種も国籍も異なる社員(ユーザー)がいるから、それぞれの経験や知識を活かした新しいUXが日々生み出されています。仕事の進め方もクロスオーバー型で、技術・ビジネスにいろいろなスキルを持つ人たちが専門分野の協会を超えて、新しい仕組みを次々と創り出しています。

あなたがロジスティクスやICTのプロになりたいなら、もちろん大歓迎。でももし他の事業も楽しそうだと思ったら、ぜひチャレンジしてみてください。

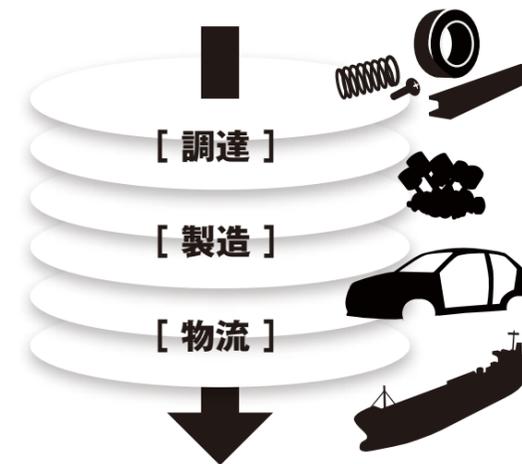
シーオスはそういう自由な人が大好きです。



垂直統制から水平コラボレーションへ、
変革を始めよう。

Break out

シーオスの活動の根底にあるのは水平コラボレーションです。
これからの経済をリードしていくビジネスモデルは、
これまでの大企業のようにリソースを囲い込み、
サプライサイドの論理でユーザーに商品やサービスを供給する垂直型ではなく、
たくさんの企業や人とオープンに協力して知恵やリソースを融通しあい、
フレキシブルにビジネスを展開していく水平型です。
そこには柔軟な発想や、人の利益も考えるやさしさがあります。
知恵もリソースも利益も分け合い協力するから、
企業も人もこれまでにない力を発揮できるのです。



垂直統合型

上流から下流まで
関連事業を支配する
一貫体制のビジネスモデル



水平協働型

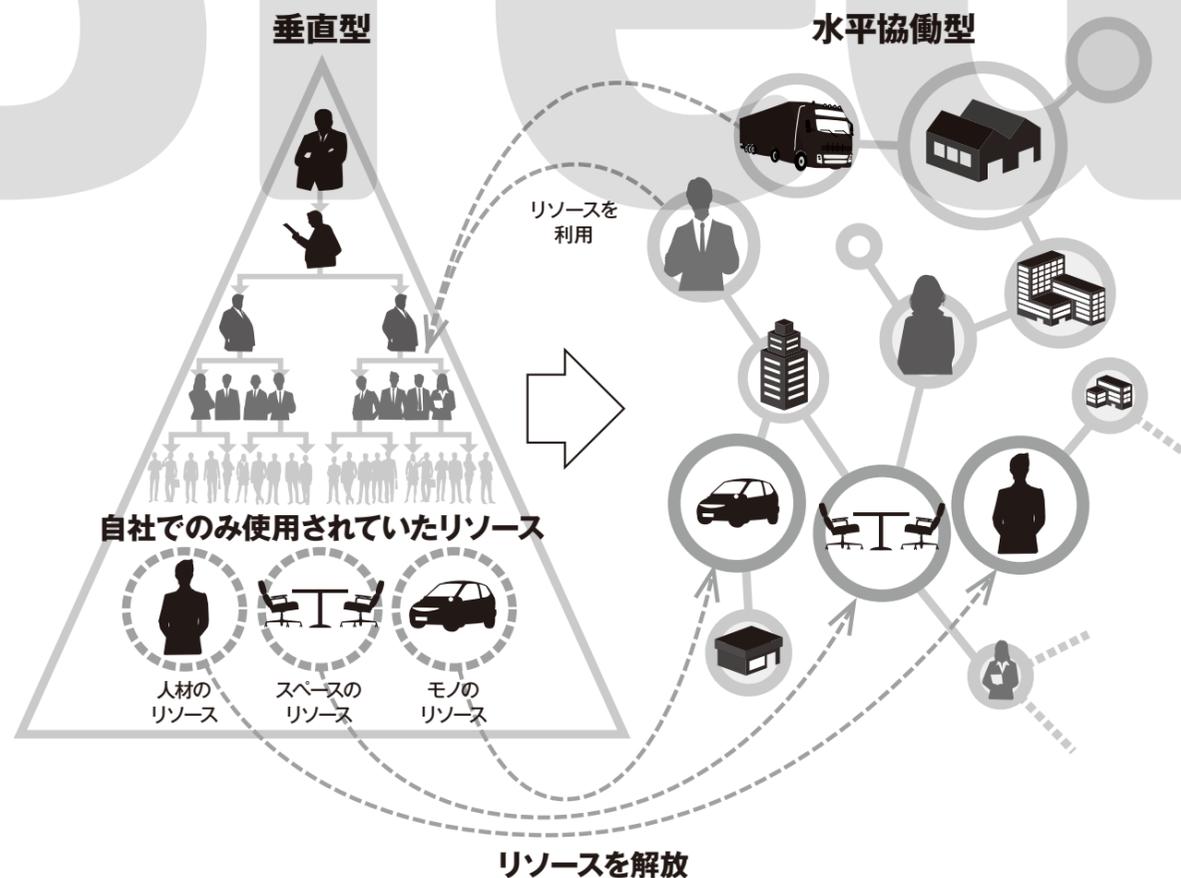
階層構造ではなく、
すべてが水平につながる。
会社の枠を超えて
協力していくスタイル

広がるコラボレーションの輪。

シーオスのビジネスは水平コラボレーションで広がっています。

様々な企業、個人のプロフェッショナルと、
対等の関係でお互いの強みを持ち寄り、知恵を出し合いながら、
様々なビジネスを展開しています。

だからこそ基幹事業であるロジスティクス分野から、
従来の業種にこだわらない新しいビジネスへ
大胆にチャレンジできるのです。



Tomoyuki Yuasa

経営支援ビジネスでの連携から、
事業創造のコラボレーションへ。

リヴァンプは業種を問わず、企業を芯から元気にする会社です。コンサルティングやソリューションよりも大きく企業の中に踏み込んで、資本参加から経営受託、マーケティング改革、ITによる業務改善まで、様々な手段・専門技術を駆使して経営を改善しています。

シーオスはロジスティクスという専門分野の問題解決能力を活かしてこの経営支援事業に参加してもらい、力を合わせて様々な企業の経営改善を実現するパートナー。当社からシーオスに社員が2名、1年間出向してロジスティクスを学ぶなど、緊密な協力・連携を進めています。

シーオスの松島社長は私のコンサルタント時代の先輩であり、これからの社会・産業界はどうあるべきか、そのために何が必要かを語り合う仲です。考え方に共通している部分が多いので、「いずれ協力して新規事業を立ち上げよう」といった話もしています。世の中のためになる、面白い事業を、将来一緒に創り出せたらいいですね。

株式会社リヴァンプは、共同設立者の澤田貴司氏(現リヴァンプ取締役会長)と玉塚元一氏(現リヴァンプ顧問)が、世界的製造小売りチェーンの経営に参画して培ったノウハウを活かして、2005年に設立。湯浅現社長は外資系コンサルティング会社を経て、リヴァンプ設立と同時に入社。2016年から代表取締役社長兼CEO。顧客企業50社の経営支援を行うほか、事業会社14社を経営する。



株式会社リヴァンプ
代表取締役社長
執行役員CEO
湯浅智之

Ken Tamagawa



株式会社ソラコム
代表取締役社長
玉川 憲

力を合わせてIoTの普及を推進し、
産業を、社会を便利にしていきたい。

ソラコムはIoTの通信プラットフォームSORACOMを提供している会社です。SORACOMを使えばスマートフォンなどのモバイル端末、センサー、自動車、産業機械などあらゆるモノを手軽につなぐことができ、クラウドやAIによってビッグデータを解析・加工し活用するシステムが簡単に構築可能です。例えば自動運転やシェアリングエコノミー、エネルギーの地域分散など、これまで不可能だった多くのことを、IoTを活用して実現していくことができます。

シーオスはロジスティクスで革新的な仕組みを次々実現しており、私たちはそこで求められる通信サービスを提供しています。ロジスティクス以外にも、スポーツイベントで選手の位置情報を管理するなど、新しい分野のビジネスで、新しい通信サービスを求められるケースも出てきており、私たちにとっては新たなニーズ開拓、サービス開発の機会を提供してくれる貴重な存在です。

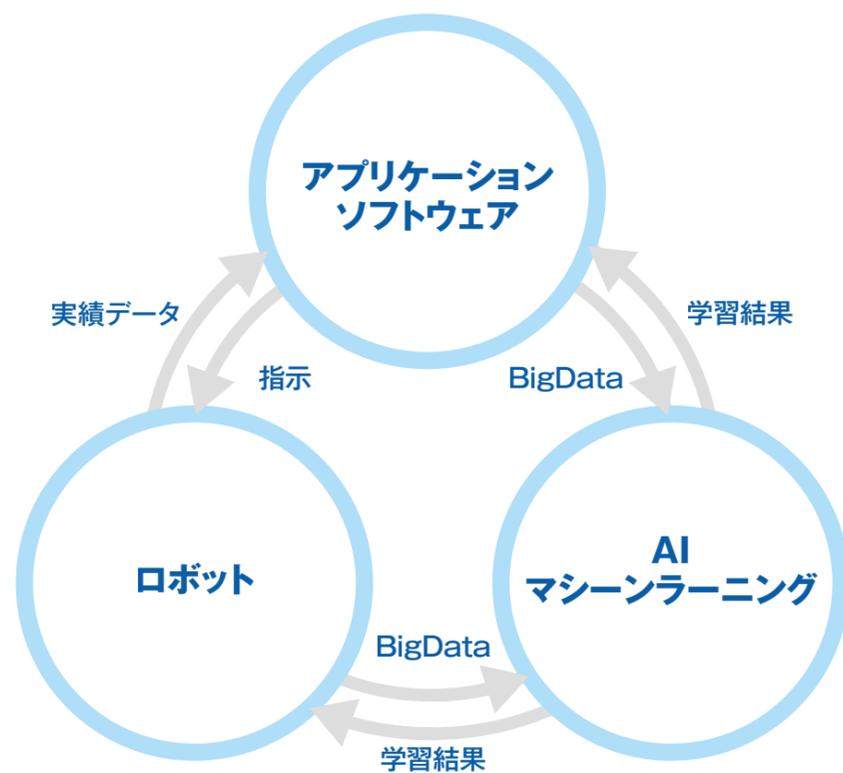
ビジネスとICT両方を深く理解しながら次々とロジスティクスの改革や新規ビジネスの立ち上げを進めていく松島社長には啓発されることも多く、これからも力を合わせてIoTを推進していきたいと考えています。

玉川 憲 / 外資系コンピューターメーカーを経て、2010年アマゾンデータサービスジャパンに入社。日本のAWS (Amazon Web Service) 立ち上げに技術統括として携わる。2011年の東日本大震災でAWSを一般解放し、通信が機能不全に陥る中、多くの人々のコミュニケーションをサポートして、クラウドサービスの価値を広く認識させた。2015年株式会社ソラコム設立。

Break out の先へ

なぜシーオスは変化し続けるのか

シーオスは設立から23年と若い会社ですが、ロジスティクスのソリューションを通じて、日本でワン&オンリーの技術力と問題解決力を誇ります。
特定の技術や業種で満足することなく、アプリケーションソフトウェア・ロボット・AIの技術とBigDataで、ロジスティクスで生まれる新たな課題に挑み続けています。



ロジスティクスに圧倒的な強みを持つから。

シーオスは2000年にコンサルティング会社アクセンチュアからスピンオフした、コンサルティングとシステムソリューションの会社です。一般にはあまり知られていませんが、ロジスティクスというあらゆる産業のインフラを担う分野に、革新的な改革手法とテクノロジーを次々と導入し、幅広い業界から圧倒的な支持を得ています。

取引先は流通・小売り・製造業の大手有名企業。革新的なロジスティクスシステムへの取り組みが評価され、2001年ロジスティクス大賞、2009年ロジスティクス大賞奨励賞を受賞しました。

この強力な経営基盤があるから、シーオスはIoTやシェアリング、ロボット、AIなど、これからの社会を変えていく技術や産業のプラットフォーム、新しいビジネスモデルなどに、果敢にチャレンジできるのです。

ロジスティクスを通して産業のリアルが見えるから。

一般にロジスティクスというと「物流」、ものを運ぶ単純で地味な世界と思われがちですが、Amazonのように競争力の重要な機能として革新を続け、第4次産業革命のキーファンクションとしても注目が集まっています。シーオスはロジスティクスのアウトソーシングを行うことで、実際に現場で起こる問題をシステムソリューションとして開発・提供してきた会社です。

産業の垣根を越えて連携できるから。

ロジスティクスはあらゆる産業のインフラとして社会を横断的に結ぶ莫大な機能です。シーオスはスマート・デジタル・ロジスティクスというコンセプトのもとあらゆる産業でロジスティクスのデジタル化に取り組んでいます。たとえば日本経済の大きな課題である農業の革新では、農林水産省・経済産業省・国土交通省などが連携して推進する「農産品物流対策関係省庁連絡会議」に参加。国土交通省が物流の総合化・効率化を推進する事業への支援制度の適用条件のひとつとしている「トラック予約受付システム等」は、シーオスがロジスティクスの革新の一環として、いち早く製品化し、大手企業に提供しているシステムのひとつです。

Voices from Rookies

若手社員が、自分の手掛けている仕事について語ります。

新人もいきなり戦力になる。

シーオスはスタートから23年、主に即戦力になる経験者を迎え入れながら、ビジネスを急成長させてきました。

新卒者を本格的に採用することになったのはここ数年のこと。

だから、経験豊富な先輩社員と協力し合って、

新入社員も1年目から事業プロジェクトの一角を担ってもらいます。

とはいえ、どんな雰囲気働くのか不安に思われるでしょう。

そこで若手社員に、シーオスという会社の印象、仕事をしてみての感想を率直に語ってもらいました。

能力を120%引き出しながら 人を育てる会社

シーオスでは新しい開発プロジェクトが次々と立ち上げられています。中途採用や派遣の人など、色々なバックグラウンドや考え方の人がいて、職場は活気に溢れています。

シーオスは人の能力を120%引き出す会社。新人でもレベルの高い仕事ができます。大変なこともありますが、やりがいを感じながらハイスピードで成長し、少し前には想像できなかったような自分になっていける。

これからはさらにスキルを磨いてもっといい仕事がしたい。将来はプロジェクトマネージャーとして、メンバーがやりがいを感じながら働けるようなプロジェクトを手掛けていきたいですね。

衛 馨 / 子供の頃から日本の文化や経済に興味があり、上海で日本語と日本経済を勉強。日本の大学院でIT・社会環境について学ぶ。SEの仕事をめざして就職活動し、シーオスの外国人が自然に仕事をしているところが気に入り入社。入社後、社内カーシェアリングのアプリ開発、シェアリングビジネスのコンセプト会議への参加、ロジスティクスのリソースシェアリングを実現するための新しい配車システムの開発などを担当。



Kaori Ei

衛 馨
Solution Delivery事業部



今仲修平
Solution Delivery事業部
エンジニア
(2017年入社)

3時間の作業をボタン1つで解決 即戦力として作業効率の改善に貢献

入社してからすぐに在庫管理システムの改修を担当することになり、品物のステータス遷移機能を一人で作成しました。それまでは対応に3時間かかっていた仕事を、ボタン1つで完了できるように改修しました。先輩から答えを教える指導ではなくヒントをもらいながら進められたので、自分で担当できたことはうれしかったです。

今年からは経済産業大臣表彰も受けたTruckBerthの新機能作成を担当しています。今手掛けているのは、トラックの荷卸を行うパースの予約状況だけでなくパースの現在の稼働状況が分かる機能。実装されれば、トラックや倉庫の稼働率をさらに高めて生産性を向上させ、CO₂排出を削減することにつながります。

自分は追い込まれて本領を発揮するタイプ。未経験でも、先輩たちに助けられながら新しいことにどんどん挑戦できる職場環境には満足しています。シーオスには教える文化が根付いているので、最後まで丁寧に教えてもらって勉強になります。将来はお客様に対等な立場で提案し、納得いくものを提供できるSEを目指しています。

今仲修平 / 大学時代は情報デザイン学部にて、webページデザインやポスター、webサービスを製作する。デザインを学ぶ中でものづくりの面白さに気づき、一念発起してシーオスにエンジニアとして入社。全くの未経験ながら、入社一年目で在庫管理システムの改修で作業効率を改善、クライアントへのヒアリング、サーバーの運用保守を任されるなど活躍中。幼い頃からピアノをやっていたため、週末はキーボードやドラムを演奏し、バンド活動を楽しんでいる。

Shuheii Imanaka

Corporate Profile

社名
シーオス株式会社 (英語名: SEAOS, Inc.)

本社所在地
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-18-18
東急不動産恵比寿ビル6F
TEL: 03-5791-1170(代) FAX: 03-5791-1175

事業所
川崎事業所
〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区夜光3-2-3
DPL川崎夜光 4F
TEL: 044-280-2602 FAX: 044-280-2603

大阪事業所
〒562-0036 大阪府箕面市船場西2-1-1
エリモビル6F
TEL: 072-730-0605

代表者
代表取締役社長 松島 聡 (AKIRA MATSUSHIMA)

創立
2000年8月1日 (設立登記日:1997年12月18日)

資本金
1億円

事業内容

- コンサルティング・テクノロジー
ロジスティクス戦略コンサルティング、SI
- プロダクトライセンス
アプリケーションソフトウェア・ロボット開発
- オペレーションマネジメント
ロジスティクス設計・運用

従業員
179名 (取締役・顧問・パート社員含む)

- サプライチェーンロジスティクスコンサルタント: 19名
- システムコンサルタント・テックエキスパート: 21名
- テクノロジーエンジニア: 29名
- オペレーター: 93名
- ファンクションエキスパート: 17名

2022年12月31日現在

SEAOS 5つの創業の精神

- 1. 社会のため** 社会の発展に技術をもって貢献すること、お客様の経営のためになること、社員の育成のためになること、それら3つを同時に満たすことしかすべきではない。
- 2. 謙虚** 決して慢心することなく、常に技術力向上に努めること。
- 3. 感謝** 今の自分の立場は、これまで自分が出会った多くの方々を通じて培われていることを忘れず、感謝すること。
- 4. 教育・人材育成** 人材の能力が会社の能力である。人材の育成なくして会社の成長はない。上司は部下に仕事を振るのではなく、教育目的をもって部下に仕事を任せ教えること。
- 5. 自分以外** 相手の立場に立つこと、常に主語は、社会、お客様、自分以外のSEAOSチームメンバーであること。

行動規範

- Visionary** 素晴らしい結果をイメージし具現化する
- Justice is the 1st** 目先の得より、正しさを優先する
- Open Mind&Share** 色んな個性をフラットに活かし合う
- Deep&Speed** 高速で、深く考える
- Still Day One** まだ何も成し遂げていない、すべてはこれから
- Festivalism** どんな状況でもポジティブに楽しむ
- Ownership** 自分自身の事として責任をもって積極的に関わる

Digital
Logistics
Solution
Company



政策支援プロジェクト(平成28年度実績)

- 経済産業省** 次世代物流システム構築事業
パス予約によるシェアリングプラットフォーム構想
執行団体: JILS (日本ロジスティクスシステム協会)
- 農林水産省** 農産物輸出コスト低減対策特別支援事業
コンビニエンスストア配送便の帰り便を活用した集荷モデルの構築による配送費の低減化
執行団体: 日本青果物輸出促進協議会
- 国土交通省** ETC2.0 車両運行管理支援サービスに関する社会実験
ETC2.0、スマホ、OBD2等の各種デバイスから取得できる運行管理データから得られる情報 (BigData) を用いたソリューションの検討

表彰・受賞

- 2017年** グリーン物流パートナーシップ優良事業者 (経済産業大臣表彰) 受賞
- 2009年** ロジスティクス大賞奨励賞 受賞
- 2001年** ロジスティクス大賞 受賞

社名の由来



地球の表面積の71%を占め、生命の誕生を育んだ母なる海(SEA)のような懐の広さ・深さを持った Operating Systemの会社になることをSEAOSIは目指しています。

Message from UX Leader

代表からのメッセージ



一緒に新しい時代のビジネスモデルを
創っていこう。

2016. Shimodaira
Matsushima

Akira Matsushima

シーオス株式会社 代表取締役社長
松島 聡

ロジスティクスとの出会いから始まった起業への道

私はアクセンチュアというコンサルティング会社で自分のキャリアをスタートしました。そこで得たものはビジネスにおける基本的な知識やノウハウと、ロジスティクスという大きな可能性を秘めた分野でした。

1990年代半ば、アクセンチュアではこの分野を革新すべく、アメリカを中心に世界からメンバーを集めてプロジェクトチームが作られ、私は日本の代表として参加したのです。このプロジェクトで私は、プロジェクトリーダーが最先端の方法論とテクノロジーを駆使してロジスティクスの新しい仕組みを創造していくのを目の当たりにしました。その革新はビジネス全体に大きなインパクトを与えるような革命的なものだったのです。

このときから私は「日本のロジスティクスをテクノロジーで革新したい」と強く思うようになりました。

そして90年代末、アクセンチュアで新しいビジネスインキュベーションのプロジェクトで新会社を設立したのをきっかけにアクセンチュアを離れ、2000年から経営者としての人生をスタートしました。当時は医療分野のロジスティクスを手がけるコアなコンサルティングとソリューションの会社でしたが、次第に通信会社やメーカー、流通などへ客先が拡大し、会社は急速に成長していきました。このロジスティクス事業で開発したアプリケーションはパッケージ製品として販売され、新しい事業の柱になりました。

本当に世の中に役立つビジネスを求めてUX事業へ

このように会社は順調に成長していましたが、私は次第にある疑問を抱くようになりました。それは「BtoBのビジネスでは、顧客企業の問題を根底から解決することはできないのではないか?」という疑問です。顧客企業の先にはその企業のお客であるエンドユーザーがいます。従来型のBtoBビジネスではこのエンドユーザーに提供する価値を直接高めることはできません。

そこで新しいビジネスモデルを模索すべく、私はトライアスロンのBtoCビジネスを立ち上げました。この事業でシーオスはエンドユーザーと直接触れ合いながら、これからのビジネスで何が大切なのかを探求していきました。現在はこの事業は独立し、別会社としてさらに飛躍を遂げていますが、そこから今私たちがトライしているUXビジネス、シェアリングビジネスという発想が生まれてきたのです。

事業スタートから18年間、シーオスはコンサルタントやシステムエンジニア、Webや出版メディアのディレクターなど、様々なジャンルのスペシャリスト、プロフェッショナルたちと協力しながらビジネスを一貫して拡大させてきました。そして今、IoTの推進によるロジスティクス関連事業のさらなる成長と並行して、UX・シェアリングをキーワードとした新しいビジネスへのチャレンジをスタートさせています。

新しいスタートに必要なフレッシュな人材

これからは、これまでの18年間をはるかに超える、多様性と創造性に富んだビジネスが展開されていきます。そこには多様性・創造性に富んだ人材の活躍が不可欠です。

私たちが必要としているのは、大企業のような垂直型組織や会社が決めたルールの中で働く人材ではありません。水平なコラボレーションを通じてプロジェクトを推進しながら、新しいビジネスを創造していく仲間です。仲間は社外の企業やフリーランスのプロフェッショナルたちの中にもたくさんいます。

会社という便利な仕組みを最大限活用しながら、必要に応じて社外と柔軟にコラボレートしていくのがシーオスの事業形態であり働き方です。

私たちは日本型の雇用形態にこだわりません。もしあなたが自分のキャリア形成の中で、シーオスだけでなく他の企業でも仕事をしたいと思ったら、それができる会社です。

もしあなたがシーオスで何年か仕事をして、そこで磨いたスキルや経験を活かして起業するなら、それも大歓迎です。あなたが設立した会社がシーオスとコラボレートすることで、お互いにメリットを生むことができるならなおさら大歓迎です。

こうした働き方はまだ日本では一般的ではありませんが、欧米、特にアメリカではごく当たり前のこと。これから日本でも産業界の変化と並行して、一般的になっていくでしょう。

そんな自由で魅力に富んだ生き方・働き方を実践しながら、新しいビジネスと一緒に創造してくれる、そんな仲間をシーオスは待っています。

Be in

お互いを知ることから、 コラボレーションを始めよう。

もしあなたが、このパンフレットで少しでもシーオスという会社に興味を持ったら、
とりあえず私たちとコンタクトをとってください。
学内の企業就職説明会に出席してもらえれば、もっと詳しい会社紹介が聴けるでしょう。
もちろん質問することも可能です。
もっとシーオスを知りたくなったら、ぜひオフィスを訪ねてください。
職場の雰囲気を見たり、お互いの自己紹介から始めて、
仕事について、将来について考えていることを話し合ったりできます。
このパンフレットに書かれていることについて半信半疑でもかまいません。
私たちの何人かと話し合ううちに、あなたが知らなかった価値観や、
思ってもみなかった未来の可能性に気づくかもしれません。
そこからあなたのスイッチが入るかもしれません。
その先にはきっとワクワクするような気づきが待っています。

まずはエントリーを! (QRコード→Webのエントリーシートページへリンク)



<https://www.seaos.co.jp/entry-newgraduates.html>

連絡先 シーオス株式会社 管理本部人事総務グループ 新卒採用担当
Mail address: ng-recruit@seaos.co.jp

SEAOS

